

文芸書



黄金の刻 とき
 榎 周平/著
 明治7年。服部金太郎は丁稚として、東京の洋品問屋で働いていた。金太郎は高価ゆえに持つ人の限られていた「時計」に目をつけ、いずれは時計商になりたいという熱い想いを抱き…。「セイコー」創業者の一代記。

- 翔平選手と翔平ちゃん
- 遠慮深いうたた寝
- あなたとなら食べてもいい
- 三千円の使いかた(中公文庫)
- キネマトグラフィカ
- 雪見酒(新・酔いどれ小藤次 21)
- 李王家の縁談
- ミチクサ先生 上・下
- 神曲
- トヨトミの逆襲
- 中野のお父さんの快刀乱麻
- ミニシアターの六人
- フェイクフィクション
- 剛心
- ルーティーンズ
- ほんのこども
- 残照の頂 山女日記 続
- 変な家
- 剣樹抄 不動智の章
- 邯鄲(かんたん)の島遥かなり 下
- らんたん
- 幻の旗の下に
- 塞王の楯
- 真・慶安太平記
- 死にふさわしい罪
- レインメーカー
- 闇祓
- 失われた岬

- 川崎静葉
- 小川洋子
- 千早 茜
- 原田ひ香
- 古内一絵
- 佐伯泰英
- 林真理子
- 伊集院静
- 川村元気
- 梶山三郎
- 北村 薫
- 小野寺史宜
- 菅田哲也
- 木内 昇
- 長嶋 有
- 町屋良平
- 湊かなえ
- 雨穴
- 冲方 丁
- 貫井徳郎
- 柚木麻子
- 堂場瞬一
- 今村翔吾
- 真保裕一
- 藤本ひとみ
- 真山 仁
- 辻村深月
- 篠田節子

一般書・児童書



お家で楽しむアフタヌーンティー
 Cha Tea 紅茶教室/編



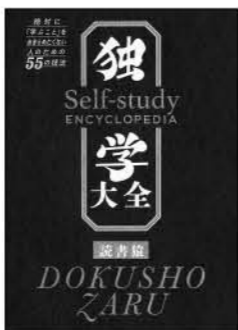
世界の祝祭
 地球の歩き方編集室/編



工藤ノリコBOOK
 工藤ノリコ/著



3STEP冷凍コンテナごはん
 るこ/著



独学大全
 読書猿/著



いちばん親切な更年期の教科書
 高尾 美穂/編



パンどろぼうとなぞのフランスパン
 柴田ケイコ/さく



おもち
 彦坂有紀・もりといずみ/さく

上士幌町図書館ブログでも入荷情報をご案内しています。
<https://horonlibrary.blogspot.com/>



【1月の休館日】1~5・10・17・24・28・31 ※28日(金)は月末休館日です



かみしほろ
 としよかんたより



上士幌町図書館 生涯学習センター1階 ☎2-4634

◆開館時間 10:00~18:00 貸出制限なし(ただしDVDは3タイトルまで)
 ◆休館日 毎週月曜日・月末日(最後の平日)・年末年始(12月31日~1月5日)

としよかん映画会

上映作品映画すみっこぐらし

「ある日すみっこたちは、喫茶すみっこの地下室で、古くなった1冊のとびだす絵本をみつけます。それから大冒険がはじまります…」そんなドキドキのお話です。ぜひ誘い合って、ご来場下さい。

◆日時 令和4年1月14日(金)
 1回目:10時30分から 2回目:14時から
 ◆場所 生涯学習センター2階 視聴覚ホール

冬休み工作教室

工作は「ぐにゃぐにゃ凧」を作ります。作り方はとても簡単です。揚げてみると、風を受けながら生き物のように空をよく飛びます。下記のとおり開催しますので、参加を希望する方は図書館(☎2-4634)にご連絡下さい。

◆日時 1月15日(土) 10時から
 ◆場所 生涯学習センター1階 会議室2
 ◆対象 小学3年生以上(小学1・2年生は保護者同伴)
 ◆定員 先着10名まで

自慢の年賀状展

◆期間 令和4年1月15日(土)~2月5日(土)
 絵手紙サークル「どんぐり会」の協力で、今年も『自慢の年賀状展』を開催します。味わい深い手作りの年賀状をぜひご覧下さい。また、皆さんが自慢したいと思う年賀状がありましたら図書館にお貸し下さい。一緒に飾らせていただきます。

年末年始休館日のお知らせ

図書館は、年内12月29日まで開館します。(30日は月末休館日)
 年末年始休館日は、12月31日~1月5日です。この期間中は職員が不在ですので、貸出中の本などの返却については、年明け初開館日の6日以降にお願いします。

ようこそおはなしの世界へ

- ★お話し会
 - ◆日時 1月8日(土) 10:30~
 - ◆内容 お話し会「カッコウ」による絵本の読聞かせ・紙芝居・パネルシアター等
 - ★えほんのトビラ
 - ◆日時 1月22日(土) 10:30~
 - ◆内容 図書館職員による絵本の読み聞かせ
- ※マスクを着用してご参加ください



※会場は両日とも図書館お話し会のお部屋です。

おすすめの1冊

脱プラスチックへの挑戦
 堅達京子 + NHK特別取材班



NHK BS1スペシャルで放映された番組取材班による本書は、映像化されなかった貴重な証言を数多く紹介。章ごとにポイントが1頁にまとめられ、理解しやすい構成です。

自然界では分解されないプラスチックごみを大量に飲み込み、浜辺に打ち上げられたクジラの姿は、大量生産や大量消費から持続可能な発展へと転換する必要性を訴えています。

日本は、大人の男性の平均体重より重い、一人当たり年間70キログラム以上のプラスチックを消費します。これはアメリカに次いで世界第2位。また、空気や水、食べ物には微細なプラスチックが含まれ、世界中の人々が毎週クレジットカード1枚分(5グラム)に相当するプラスチックを摂取している可能性も指摘されています。

さらに廃プラスチックは気温を上昇させる温室効果ガスの発生源で、深刻な地球温暖化をもたらしているという驚きの事実が提示されます。

一方で、脱プラスチック問題をビジネスチャンスや人材育成にまで昇華しようとする、世界の潮流や、日本企業の果敢な挑戦を展望しています。